

しば子先生の

ミニミニ芝生教室

先生：土壌の物理性・化学性・微生物層の分類について説明したけど、とても大事だから忘れないでね・・・

生徒：はい、複雑な土壌を3つの分類に分けて考えることはとても大切だと言うことがわかりました・・・

先生：そうね・・・今の科学では、土壌の中の事は遠い宇宙の出来事以上にまだまだ謎のことがたくさんあると言う学者もいるわ・・・

生徒：なるほど、ミクロの世界の土壌中での出来事で、しかもそこにたくさんの未知の微生物もいる世界・・・確かに人間には宇宙より身近だけれど計り知れない世界なのですね・・・

先生：でも植物はその土壌の中で何億年も生き続け、土壌微生物とも共生してるわ・・・私たちは土壌のすべてを理解してはいないけど、植物が生育する土壌条件については概ねわかっているわ・・・その条件を適正にすることが私たちの仕事という事ね・・・

生徒：それが『物理性』『化学性』『微生物層』を正しく維持するということですね・・・

先生：そういうことね・・・

生徒：それにはやはりきちんとした土壌分析が必要ですね・・・

先生：そういうことね・・・きちんとしたサンプリングをしてきちんとした土壌分析会社に依頼することが大事だけど、現場でやれることも結構あるわよ・・・

生徒：そうですね・・・現場で透水係数を測るとか・・・

先生：私がいつもお勧めするのはいわゆる『ジャーテスト』という方法・・・

生徒：ジャーテストですか？・・・

先生：そう・・・私はいつも初めて相談を受けた現場ではこれをやっているわ・・・やり方は簡単よ・・・まず20～25 cm ぐらいの空き瓶をホームセンターで買って来て、それからホールカッターなどで土壌を200～300 ccほど取ってくる・・・それを空き瓶に入れ、それに水を7、8割ぐらい入れる・・・一緒に小



第131回 ジャーテスト

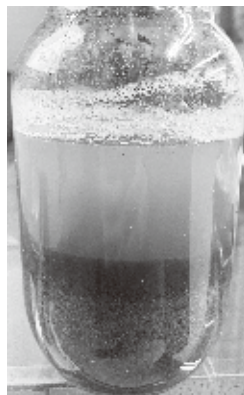
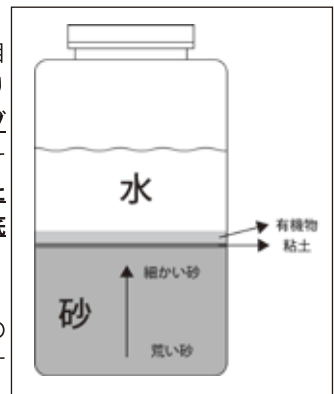


さじ半杯ぐらい液体石けんを入れてもいいわ・・・その後は瓶に蓋をした後、数分間、思っきり振る！・・・ジャカジャカ振るの！

生徒：砂や土がバラバラになりますね！

先生：そう、それが目的・・・数分間思っきりシャッフルしたらテーブルに静かに置く・・・そうすると土壌粒子の重たくて大きい物から瓶の底に沈殿していくわ・・・

生徒：なるほど！！！！そして細かい粒子がその上に堆積していくんですね・・・



先生：そのとおり・・・荒い砂の粒子などはすぐに瓶の底にたまっていくわね・・・でもまだ濁っている水に細かい粒子が浮遊しているわ・・・この中には粘土粒子や有機物が含まれているの・・・そして数時間後には粘土粒子が砂の上に層を作てくるわね・・・この層が厚ければサンドグリーンとしてはちょっと問題ね・・・でもまだ水は濁っているわね・・・そして数日から数週間後に上水が透明になったときには、粘土の層の上に有機物の層が現れるわ・・・上の写真の砂はあまり粘土や有機物が多くないけど、下の写真の砂は有機物の層がとても厚くなってるわね・・・それぞれの厚さでおおよその%が計算できるのよ・・・

生徒：なるほど簡単ですし、ビジュアルでわかるから説得力がありますね・・・

先生：下の写真の砂は有機物が多すぎるわね・・・この土壌は、芝生がいつも良くならない床土から取ってきたの・・・悪い理由は一目瞭然ね・・・新しい砂を買うときも事前にテストするといいわ・・・粘土の層が厚かったら使わない方がいいわね・・・

しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・・
shibako@hugh-enterprise.co.jp